



郵政産業ユニオン TOKYO

●発行●
 郵政産業労働者ユニオン
 東京地方本部
 発行責任者 鶴島 一広
 〒104-0031 中央区京橋 3-6-3
 京橋通郵便局 5F
 TEL・FAX 03-3535-5447
 piwutokyo@yahoo.co.jp

都内郵便局

労災事故多発

労基署臨検つづぐ

東京多摩局や新東京郵便局では、パレット事故が多発し、労働基準監督署による臨検が実施されていました。いま、東京では、交通事故をはじめとした労働災害が多発し、労災事故防止のための原因究明と根本的な対応策、必要な改善が求められています。

今年度に入り、労働基準監督署による臨検が都内で行われています。

東京支社の安全推進係発行の『チャレンジ事故ゼロ【労働災害防止編③】』（5月15）によると、今年度に入り5局に対し臨検が実施されています。そのうち4局は前年度の労災発生件数が5件以上の多発局であり、そのうち2局は無通告での臨検が実施されている・・・といえます。

今年2月8日の大雪による外務員の労働災害は、バイクによるスリップ転倒をはじめ、スリップ転倒したところ、後続車に踏まれたなどで、1日から30日の休業見込みの災害がこの日一日だけで13件も発生していました。

13年度の交通事故発生は前年比150%です。組合が、支社に件数を訪ねても「想定外で今は答えられ

ない」といいます。

昨年、労基署の臨検を受けた東京多摩局では、15件の労災が発生しており、今年度もすでに2件の発生があります。新東京郵便局でも昨年11月段階で24件の労災が発生しています。

前出の安全推進係発行はつづきます。労基署による主な正勧告では、「安全衛生委員会が毎月1回以上開催されていない」などがあり、指導票では、「労災が発生した場合、安全衛生委員会において、原因及び再発防止策が審議されていない」などがあります。

ります。

〈労基署臨検までの取り組み〉では、「前年度、労災を5件以上発生させた局は、無通告の臨検の可能性が高いので臨検の対応ができるよう体制を整備しよう」「無通告の臨検が実施されても是正勧告及び指導を受けることのないよう、時局の取り組み状況等を点検しておく」との労基署の臨検対策だけで、この発行物では労災事故の背景や原因究明、抜本的改善策は見られません。

支社や本社が来局する時だけは「不備のないように」とその日だけの変な「対策」が行われますが、労基署対策も同じようです。事故背景と原因を究明し、必要な人員配置など事故のない職場環境づくりをし、事故を無くせば労基署が入ることもないのですが・・・。

公示

地本規約第23条により、第3回東京地方本部定期大会を開催します。

記

日時・・・2014年7月26日
 9時30分開会
 場所・・・中野区産業振興センター（旧中野勤福）
 議題・・・2014年度運動方針(案)
 2014年度財政方針(案)
 その他



東日付印 京

私は、疲れた時、日帰り温泉に行きます。日帰り温泉は、あちこちにあり、

ナトリウムの成分が多く含まれ、塩化物泉と呼ばれています。特徴は、温まりやすく、切り傷、火傷等のキズに効くと言われます。また、銭湯にも天然温泉が引かれている所があります。例えば、浅草にある蛇骨湯、麻布にある竹の湯、武蔵小山にある清水湯は、450円で楽しめます。温泉は、ダイエットになり、42度の風呂に10分入ると、80キロカロリーが消費されるのです。温泉に入る前に、水分を取り、上がった後も水分を取ることを進めます。もちろん、ビールはだめです。利尿作用が働き、脱水になるからです。温泉施設には、食事、昼寝、床屋、マッサージ、エステなどがあるとところもあります。風呂ばかりでなく、他の施設も併用して利用しています。時々、山梨、群馬、茨城、静岡まで出かけます。泉質が良い温泉には、車で出かけます。種類により効果が違うのでネットで調べて行きます。ストレス発散、疲労回復に良い温泉に出かけてみませんか。(五)

王子支部が組合事務室獲得

「たたかいが実を結ぶ」

王子支部の組合事務室設置要求に対し、5月27日、王子郵便局から組合に対し貸与するとの回答がありました。

王子支部は2012年9月の支部結成から一貫して組合事務室の貸与を求めて要求書を提出してきました。

王子支部は、今春闘で賃上げ要求等とともに「組合事務室の設置」を求めてス



トライキでたたかいました。今回の事務室獲得はこれらの取り組みが実を結んだもので、支部は「活動の拠点ができた」と喜んで

これでは安心して休めない!

組合加入して撤回求める



日本郵便本社・郵便審査事務センター(日本橋郵便局内)で第3種、第4種郵便の認可審査等の仕事をしていた期間雇用社員の水野浩継さんは3月末日で「雇止め」されました。

会社は、雇止めの理由を「欠勤が多く連続して休むから」と説明してきました。

東京地裁に提訴

しかし、水野さんは無断欠勤したことはありませんでした。水野さんがこれまで休んだのは、無給の介護休暇(期間雇用社員就業規則

2月28日、会社から雇止め通知書を受け、3月に組合に相談してきました。

3月15日、会社の雇止めを納得できない水野さんは

雇用破壊ストツッ

均等待遇実現しよう!

非正規・全 国交流集会



ら参加したAさんが、郵政に働く非正規社員の労働と格差の実態を報告し、「これらが正社員との差別を禁止している「労働契約法20条」に違反していることから、5月8日に東京地裁に提訴してたたかっている」と報告しました。

6月7・8日、全労連非正規センターはパート・派遣など非正規ではたらくなかまの全国交流集会を福岡市で開催しました。今回で22回となる集会には、東京の組合員4名を含め、2日間で14単産750人が参加しました。

1日目の全体会では『ダンダリンー〇ー』の原作者・田島隆さんが記念講演。ご自身の貧困の生い立ちから「労働法を身につけてたたかおう」

裁判を支援し、雇止めを撤回させて会社の横暴を許さない職場を築きましょう。

と参加者に熱いメッセージを送りました。

2日目には分科会とパレードが行われました。

郵政で働く非正規社員が正社員とほとんど同じ仕事をしながら、非正規社員には夏季休暇、冬季休暇が付与されていない。年末年始に出勤した場合の手当てが非正規社員に支払われていない。東京では、ロッカーの大きさが違う。アレレンジヤーが貸与されていない。制服の有無・貸与枚数が正社員と異なるなど多くの格差が指摘されています。

分科会では、東京地本か

当面の行動日程

- 7月12・13日 全国書記長会議
- 7月9日 西部ブロック朝ピラ 配布
- 7月17日 大橋裁判
- 7月26日 第3回東京地本大会